

中小企業景況情報

平成30年 7月～ 9月期実績
平成30年10月～12月期予想

富山県商工会連合会

中小企業景況状況

平成30年7月～9月期

富山県下商工会地区における中小企業の景気動向を定期的に把握し、業界に対する情報の提供並びに商工会が行う経営改善普及事業の基礎資料に資するため、四半期毎に定点観測調査を実施した。

〔 調 査 基 準 〕

1. 調 査 方 法 商工会の経営指導員による訪問調査
2. 調 査 時 点 平成30年9月1日
3. 調 査 対 象 期 間 平成30年7～9月期実績および平成30年10～12月期見通し
4. 回答企業内訳および回答率

業種	対象企業数	回答企業数	回答率(%)	地 区 名
製造業	30	30	100%	朝日町 ・ 入善町
建設業	20	20	100%	上市町 ・ 立山舟橋
小売業	40	40	100%	富山市南 ・ 富山市八尾山田
サービス業	60	60	100%	富山市北 ・ 射水市
合計	150	150	100%	高岡市 ・ 小矢部市
				庄川町 ・ 南砺市

(注) 本調査でのD. Iとは、ディフュージョン・インデックス（景気動向指数）の略で、各調査項目について、前年同期と比較して増加（上昇、好転）企業割合と減少（低下、悪化）企業割合の差を示すものである。

産 業 全 体

- ・ 業況判断D. Iは、前期比4.1ポイント悪化し△11.0となった。来期は1.9ポイント悪化の△12.9を予想している。
- ・ 売上額D. Iは、前期比1.2ポイント悪化し△12.1となった。来期は4.7ポイント好転の△7.4を予想している。
- ・ 採算D. Iは、前期比0.1ポイント好転し△14.1となった。来期は1.8ポイント好転の△12.3を予想している。
- ・ 資金繰りD. Iは、前期比2.9ポイント悪化し△5.6となった。来期は4.1ポイント悪化の△9.7を予想している。

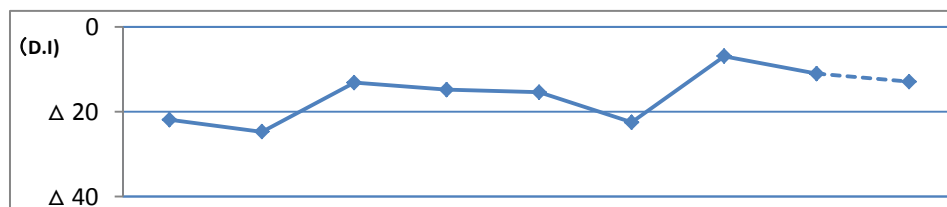
1. 業況判断D・Iの推移（前年同期比）

〔前期比、建設業は好転、製造業・小売業・サービス業は悪化した〕

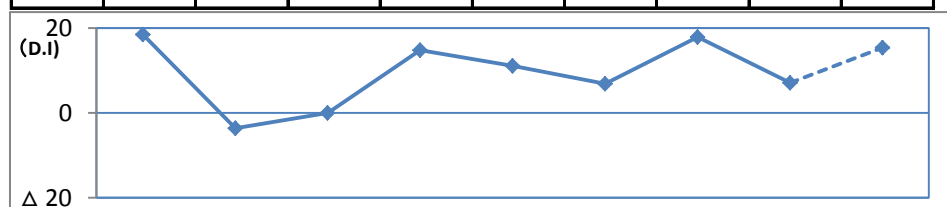
今期は、建設業△15.0（前期比+5.0ポイント）と好転し、製造業7.1（同-10.8ポイント）、小売業△17.5（同-2.1ポイント）、サービス業△13.8（同-5.2ポイント）と悪化した。

来期は、製造業15.4（当期比+8.3ポイント）、サービス業△10.3（同+3.5ポイント）は好転を、建設業△31.6（同-16.6ポイント）、小売業△27.0（同-9.5ポイント）は悪化を予想している。

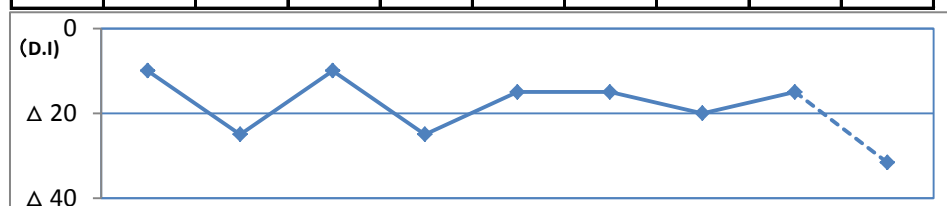
全産業



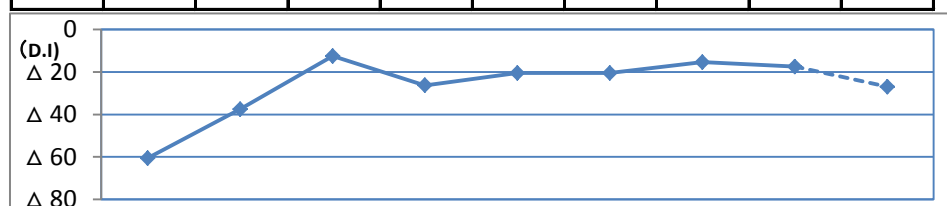
製造業



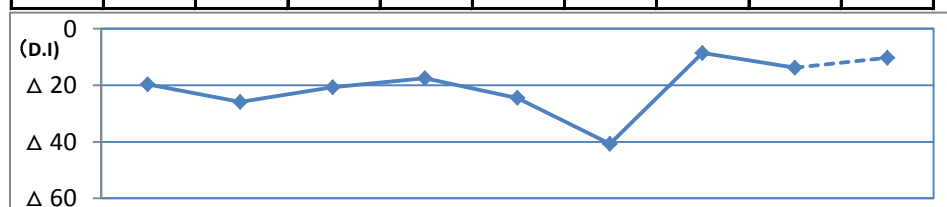
建設業



小売業



サービス業



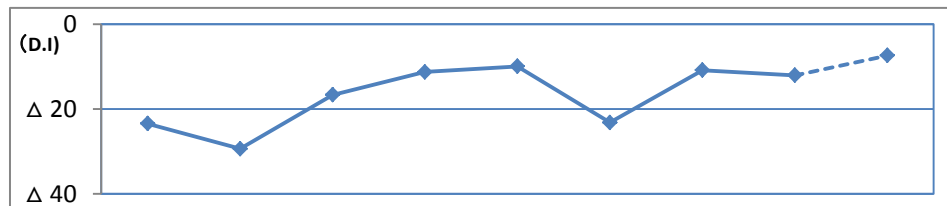
2. 売上額D・Iの推移（前年同期比）

〔前期比、製造業・建設業・小売業は好転、サービス業は悪化となった〕

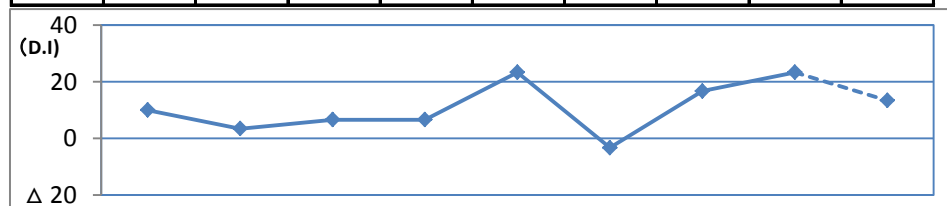
今期は、製造業23.3（前期比+6.6ポイント）、建設業△10.0（同+26.8ポイント）、小売業△15.4（同+4.6ポイント）と好転し、サービス業△28.3（同-17.9ポイント）は悪化となった。

来期は、建設業△10.0（当期比+10.0ポイント）、サービス業△10.0（同+18.3ポイント）と好転を、製造業13.4（同-9.9ポイント）、小売業△22.5（同-7.1ポイント）は悪化を予想している。

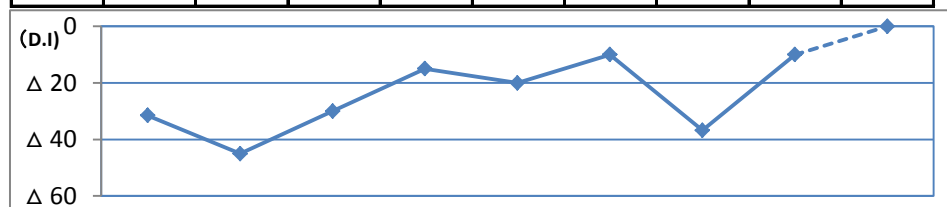
全産業



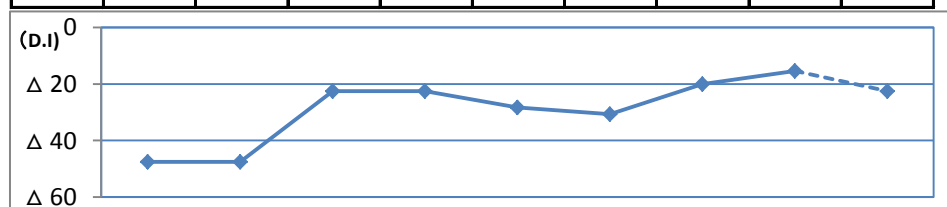
製造業



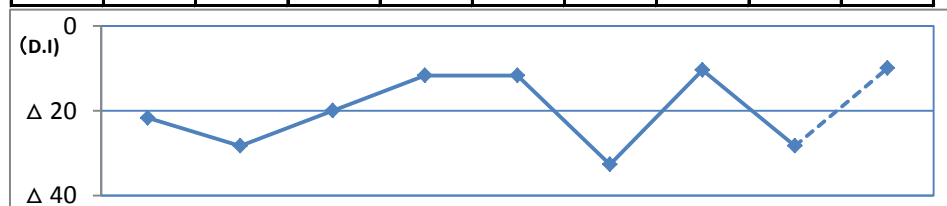
建設業



小売業



サービス業



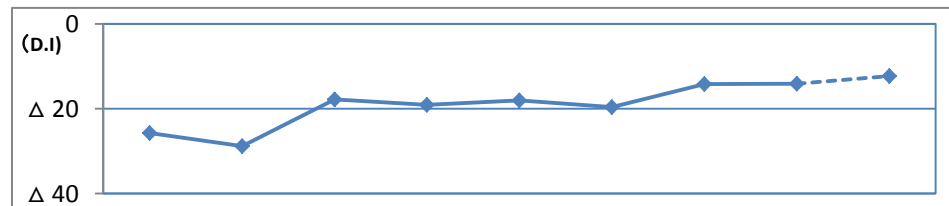
3. 採算D・Iの推移（前年同期比）

〔前期比、建設業・サービス業は好転、小売業は横這い、製造業は悪化した〕

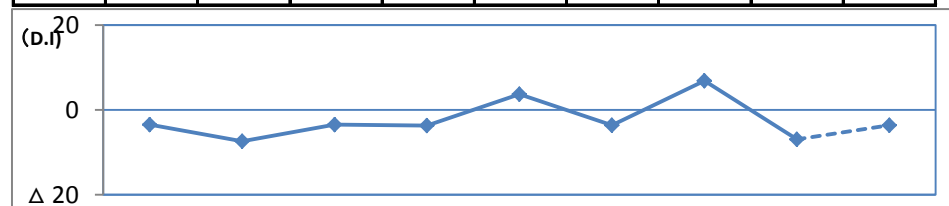
今期は、建設業△10.0（前期比+10.0ポイント）サービス業△16.7（同+3.6ポイント）は好転し、小売業△17.5（同±0.0ポイント）は横這い、製造業△6.9（同-13.8ポイント）、は悪化した。

来期は、製造業△3.6（当期比+3.3ポイント）、サービス業△11.8（同+4.9ポイント）は好転し、建設業△15.0（同-5.0ポイント）、小売業△18.0（同-0.5ポイント）、は悪化を予想している。

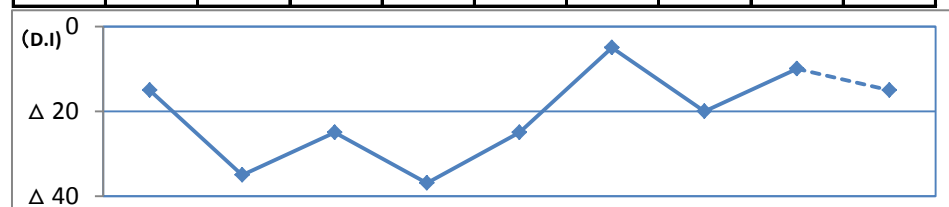
全産業



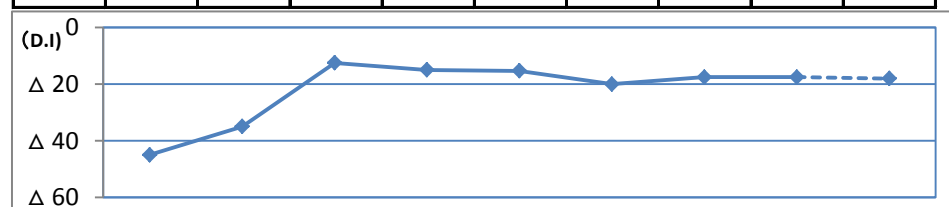
製造業



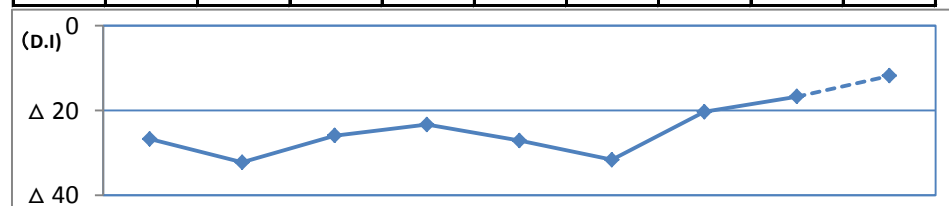
建設業



小売業



サービス業



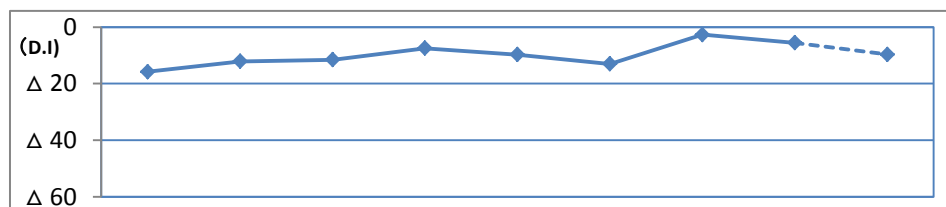
4. 資金繰りD・Iの推移（前年同期比）

〔前期比、サービス業は好転、製造業・建設業・小売業は悪化した〕

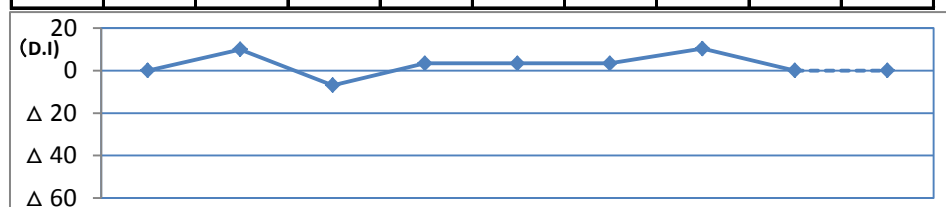
今期は、サービス業△1.8（前期比+6.9ポイント）と好転したが、製造業0.0（同-10.4ポイント）、建設業△15.8（同-10.8ポイント）、小売業△10.5（同-8.0ポイント）は悪化した。

来期は、建設業10.5（当期比+5.3ポイント）は好転を、製造業0.0（同±0.0ポイント）は横這い、小売業△17.9（同-7.4ポイント）、サービス業△8.6（同-6.8ポイント）は悪化を予想している。

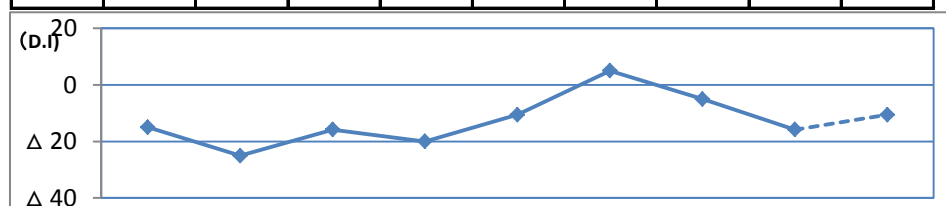
全産業



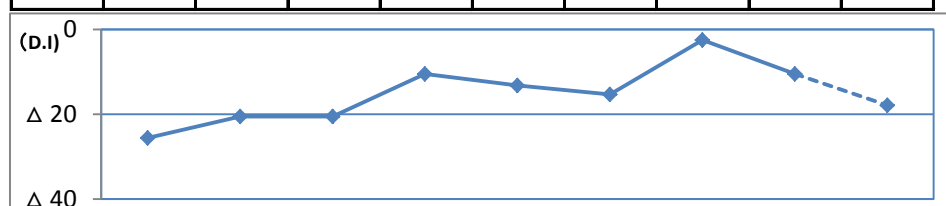
製造業



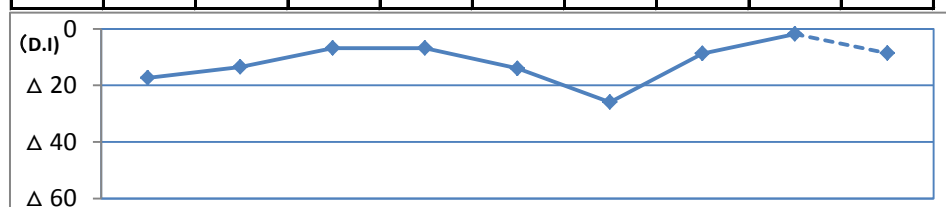
建設業



小売業



サービス業

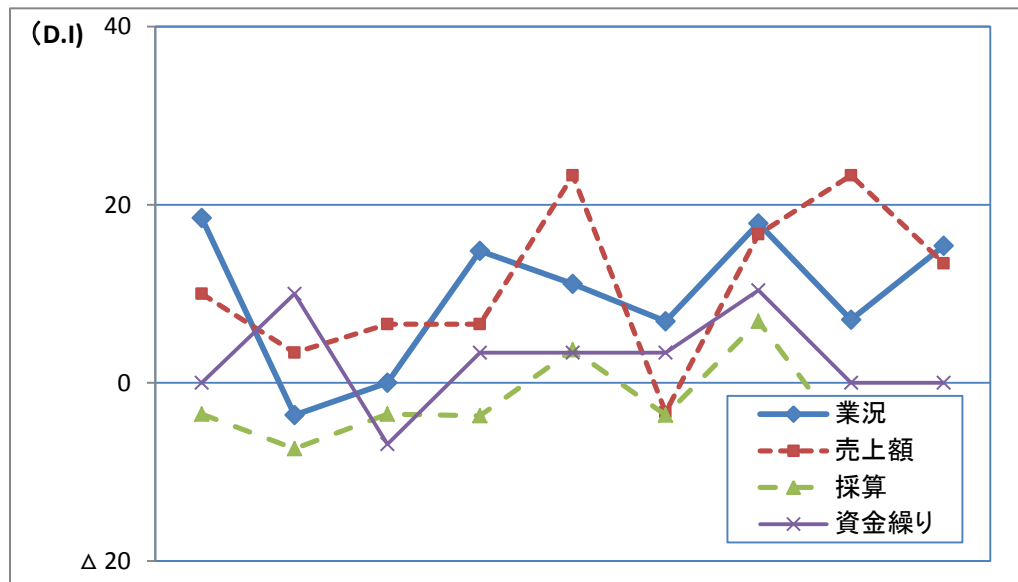


製 造 業

1. 主要景況項目の動向

業況D. Iは7.1（前期比-10.8ポイント）、売上額D. Iは△23.3（同+6.6ポイント）、採算D. Iは△6.9（同-13.8ポイント）、資金繰りD. Iは0.0（同-10.4ポイント）であった。来期は業況・採算D. Iは好転、資金繰りD. Iは横這い、売上額D. Iの項目で悪化を予想している。

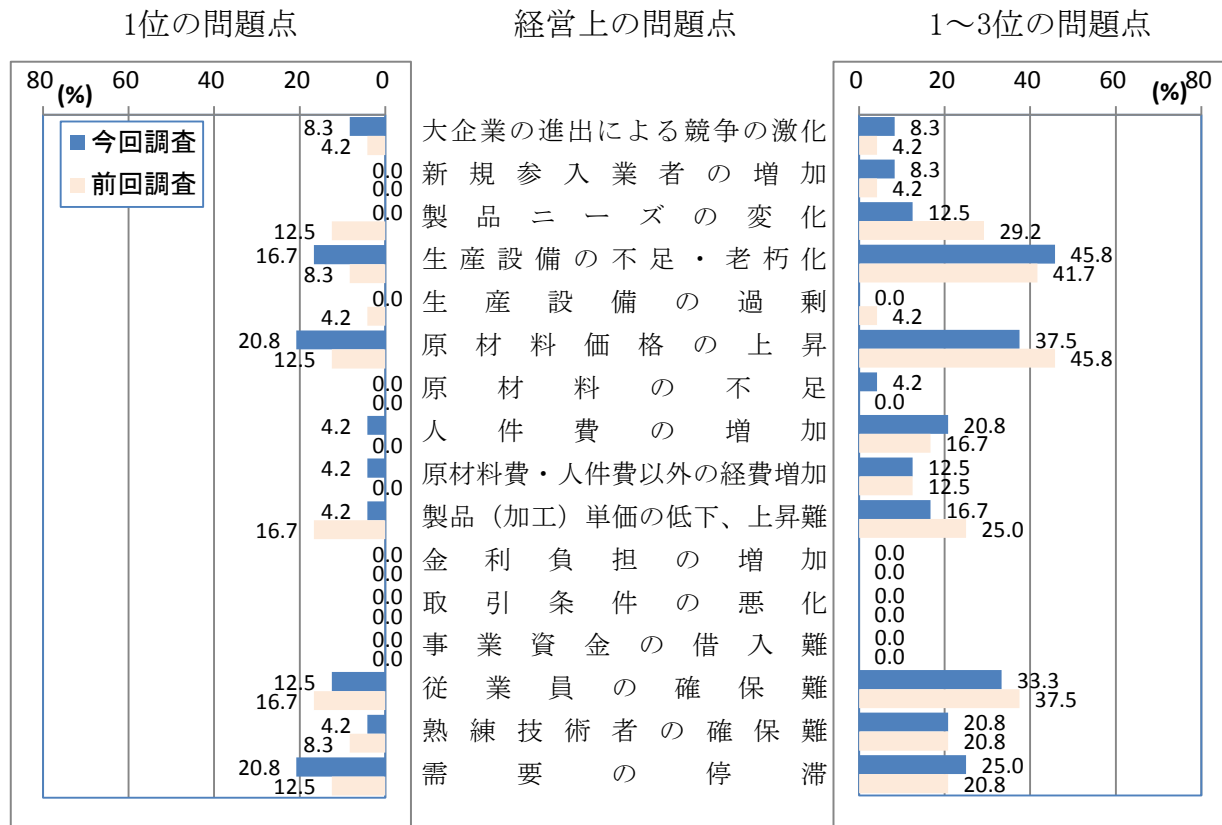
全国との比較では、今期富山県は業況・売上額・採算・資金繰りD. Iの全ての項目で上回った。



		H28/10~12月	H29/1~3月	H29/4~6月	H29/7~9月	H29/10~12月	H30/1~3月	H30/4~6月	H30/7~9月	H30/10~12月 (予想)
業況	好転	29.6	10.7	25.9	29.6	29.6	20.7	25.0	25.0	23.1
	不変	59.3	75.0	48.2	55.6	51.9	65.5	67.9	57.1	69.2
	悪化	11.1	14.3	25.9	14.8	18.5	13.8	7.1	17.9	7.7
	D. I	18.5	△ 3.6	0.0	14.8	11.1	6.9	17.9	7.1	15.4
	D. I (全国)	△ 19.8	△ 18.3	△ 8.7	△ 8.1	△ 5.8	△ 11.2	△ 6.0	△ 10.1	△ 7.4
売上額	好転	26.7	26.7	33.3	33.3	43.3	26.7	30.0	43.3	26.7
	不変	56.6	50.0	40.0	40.0	36.7	43.3	56.7	36.7	60.0
	悪化	16.7	23.3	26.7	26.7	20.0	30.0	13.3	20.0	13.3
	D. I	10.0	3.4	6.6	6.6	23.3	△ 3.3	16.7	23.3	13.4
	D. I (全国)	△ 21.2	△ 19.3	△ 8.2	△ 8.4	△ 5.0	△ 14.3	△ 5.8	△ 10.8	△ 7.7
採算	好転	17.9	11.1	17.9	18.5	18.5	14.3	20.7	13.8	14.3
	不変	60.7	70.4	60.7	59.3	66.7	67.8	65.5	65.5	67.8
	悪化	21.4	18.5	21.4	22.2	14.8	17.9	13.8	20.7	17.9
	D. I	△ 3.5	△ 7.4	△ 3.5	△ 3.7	3.7	△ 3.6	6.9	△ 6.9	△ 3.6
	D. I (全国)	△ 21.0	△ 21.8	△ 13.4	△ 11.8	△ 11.2	△ 16.7	△ 12.0	△ 10.0	△ 10.2
資金繰り	好転	6.9	16.7	13.8	17.2	10.3	10.3	13.8	13.8	13.8
	不変	86.2	76.6	65.5	69.0	82.8	82.8	82.8	72.4	72.4
	悪化	6.9	6.7	20.7	13.8	6.9	6.9	3.4	13.8	13.8
	D. I	0.0	10.0	△ 6.9	3.4	3.4	3.4	10.4	0.0	0.0
	D. I (全国)	△ 15.6	△ 13.2	△ 10.2	△ 8.6	△ 8.2	△ 11.8	△ 5.8	△ 8.3	△ 7.4

2. 経営上の問題点

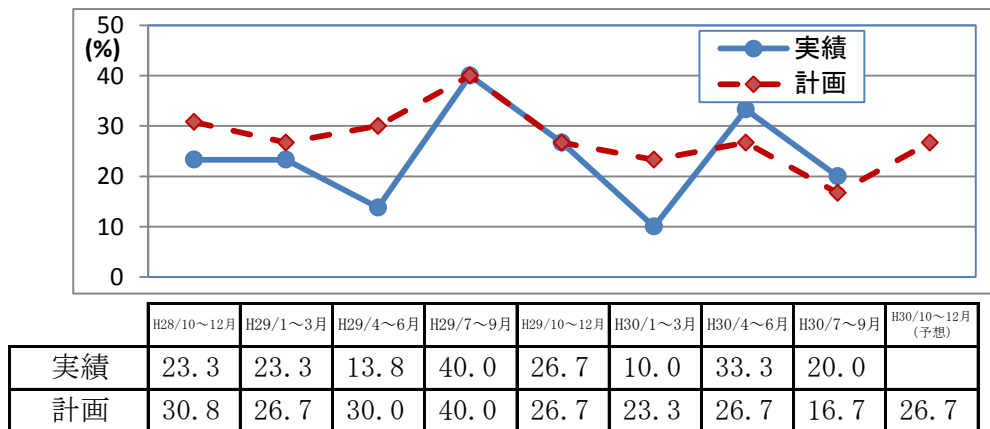
1位の問題点の上位は、①「原材料価格の上昇」(20.8%)、「需要の停滞」(20.8%)、②「生産設備の不足・老朽化」(16.7%)、③「従業員の確保難」(12.5%)であった。これを1～3位までの合計で見ると、①「生産設備の不足・老朽化」(45.8%)、②「原材料価格の上昇」(37.5%)、③「従業員の確保難」(33.3%)の順となった。「原材料価格の上昇」、「生産設備の不足・老朽化」、「従業員の確保難」が上位に定着してる。



3. 設備投資の状況

今期設備投資を実施した企業は、前期比13.3ポイント減少し20.0%となった。投資内容は土地、生産設備、車両・運搬具、福利厚生施設等となっている。

来期計画は10.0ポイント増加し26.7%となっている。投資内容は工場建物、生産設備、車両・運搬具、付帯設備、OA機器等となっている。

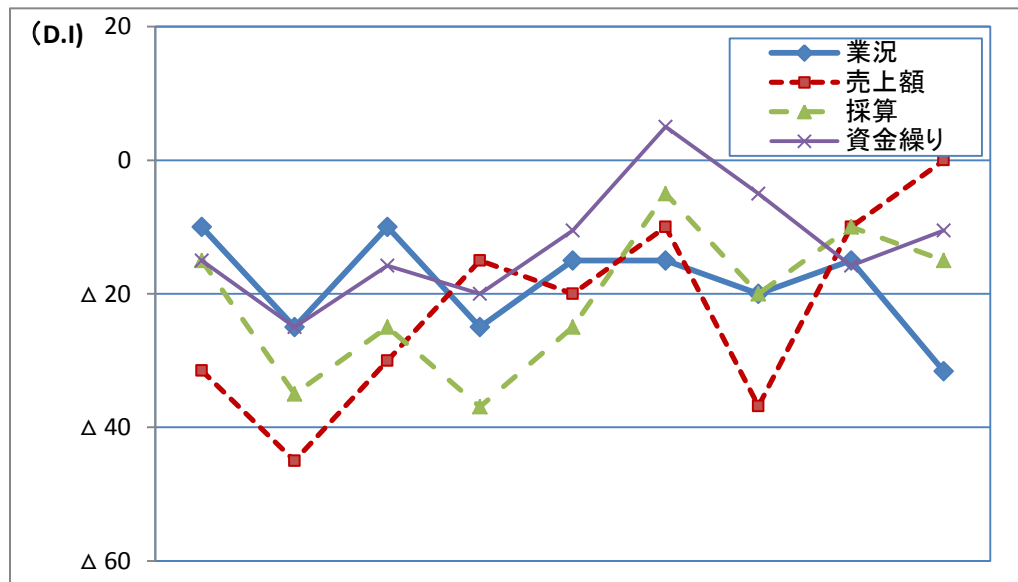


建設業

1. 主要景況項目の動向

業況D. Iは△15.0（前期比+0.5ポイント）、売上額D. Iは△10.0（同+26.8ポイント）、採算D. Iは△10.0（同+10.0ポイント）、資金繰りD. Iは△15.8（同-10.8ポイント）であった。来期は売上額・資金繰りD. Iで好転を、業況判断・採算D. Iの項目で悪化を予想している。

全国との比較では、今期富山県は採算D. Iの項目で上回り、業況判断・売上額・資金繰りD. Iの項目では下回った。



		H28/10~12月	H29/1~3月	H29/4~6月	H29/7~9月	H29/10~12月	H30/1~3月	H30/4~6月	H30/7~9月	H30/10~12月 (予想)
業況	好転	15.0	10.0	10.0	10.0	15.0	5.0	10.0	5.0	0.0
	不変	60.0	55.0	70.0	55.0	55.0	75.0	60.0	75.0	68.4
	悪化	25.0	35.0	20.0	35.0	30.0	20.0	30.0	20.0	31.6
	D. I	△ 10.0	△ 25.0	△ 10.0	△ 25.0	△ 15.0	△ 15.0	△ 20.0	△ 15.0	△ 31.6
	D. I (全国)	△ 15.3	△ 15.8	△ 9.6	△ 8.9	△ 5.4	△ 6.1	△ 5.4	△ 8.7	△ 6.9
売上額	好転	21.1	10.0	10.0	20.0	25.0	15.0	5.3	20.0	15.0
	不変	26.3	35.0	50.0	45.0	30.0	60.0	52.6	50.0	70.0
	悪化	52.6	55.0	40.0	35.0	45.0	25.0	42.1	30.0	15.0
	D. I	△ 31.5	△ 45.0	△ 30.0	△ 15.0	△ 20.0	△ 10.0	△ 36.8	△ 10.0	0.0
	D. I (全国)	△ 19.1	△ 17.8	△ 8.2	△ 10.8	△ 6.9	△ 9.7	△ 9.2	△ 9.7	△ 10.4
採算	好転	15.0	5.0	5.0	10.5	10.0	10.0	10.0	15.0	5.0
	不変	55.0	55.0	65.0	42.1	55.0	75.0	60.0	60.0	75.0
	悪化	30.0	40.0	30.0	47.4	35.0	15.0	30.0	25.0	20.0
	D. I	△ 15.0	△ 35.0	△ 25.0	△ 36.9	△ 25.0	△ 5.0	△ 20.0	△ 10.0	△ 15.0
	D. I (全国)	△ 18.0	△ 19.9	△ 11.4	△ 14.7	△ 12.6	△ 14.3	△ 11.2	△ 14.3	△ 12.5
資金繰り	好転	5.0	5.0	5.3	5.0	5.3	15.0	10.0	10.5	5.3
	不変	75.0	65.0	73.6	70.0	78.9	75.0	75.0	63.2	78.9
	悪化	20.0	30.0	21.1	25.0	15.8	10.0	15.0	26.3	15.8
	D. I	△ 15.0	△ 25.0	△ 15.8	△ 20.0	△ 10.5	5.0	△ 5.0	△ 15.8	△ 10.5
	D. I (全国)	△ 10.8	△ 10.9	△ 5.2	△ 5.9	△ 4.4	△ 5.9	△ 3.7	△ 4.9	△ 6.5

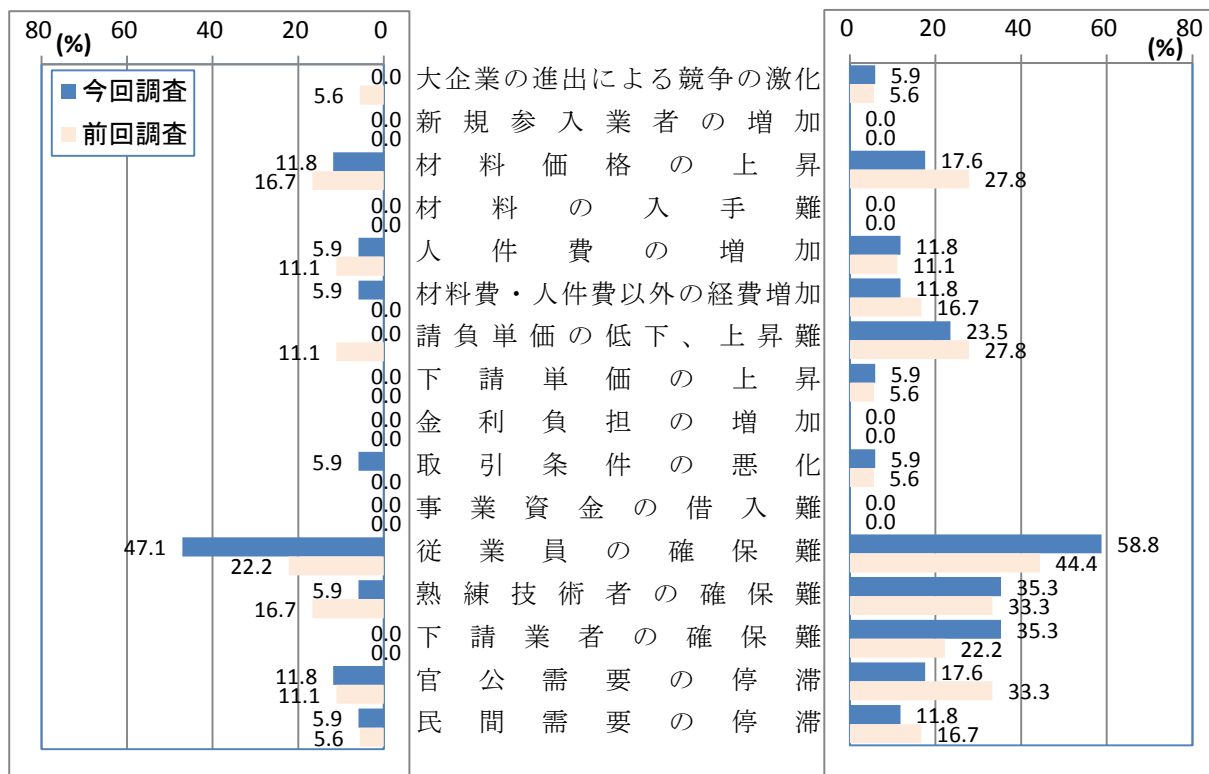
2. 経営上の問題点

1位の問題点の上位は、①「従業員の確保難」(47.1%) ②「材料価格の上昇」(11.8%) 「官公需要の停滞」(11.8%)、③「人件費の増加」(5.9%)、「材料費・人件費以外の経費の増加」(5.9%)、「取引条件の悪化」(5.9%)、「民間需要の停滞」(5.9%)であった。これを1～3位までの合計で見ると、①「従業員の確保難」(58.8%)、②「熟練技術者の確保難」(35.3%)、「下請業者の確保難」(35.3%)、③「請負単価の低下、上昇難」(23.5%)の順となった。「従業員の確保難」、「熟練技術者の確保難」、「下請業者の確保難」、「請負単価の低下、上昇難」が上位に定着している。

1位の問題点

経営上の問題点

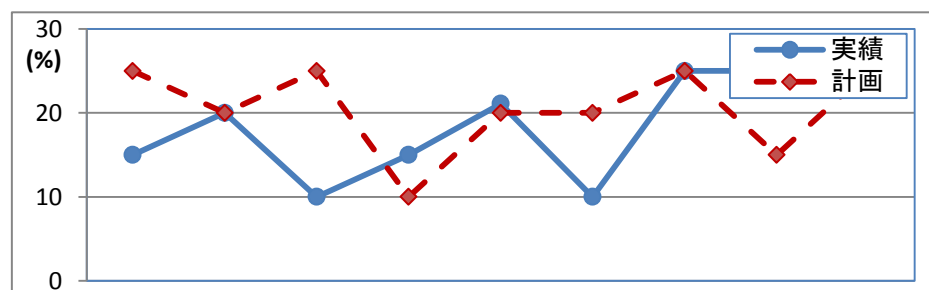
1～3位の問題点



3. 設備投資の状況

今期設備投資を実施した企業は、前期比±0.0ポイントの横這いで25.0%であった。投資内容は建物、建設機械、車両・運搬具、OA機器となっている。

来期計画は0.0ポイントの横這いで25.0%となっている。投資内容は建設機械、車両・運搬具となっている。



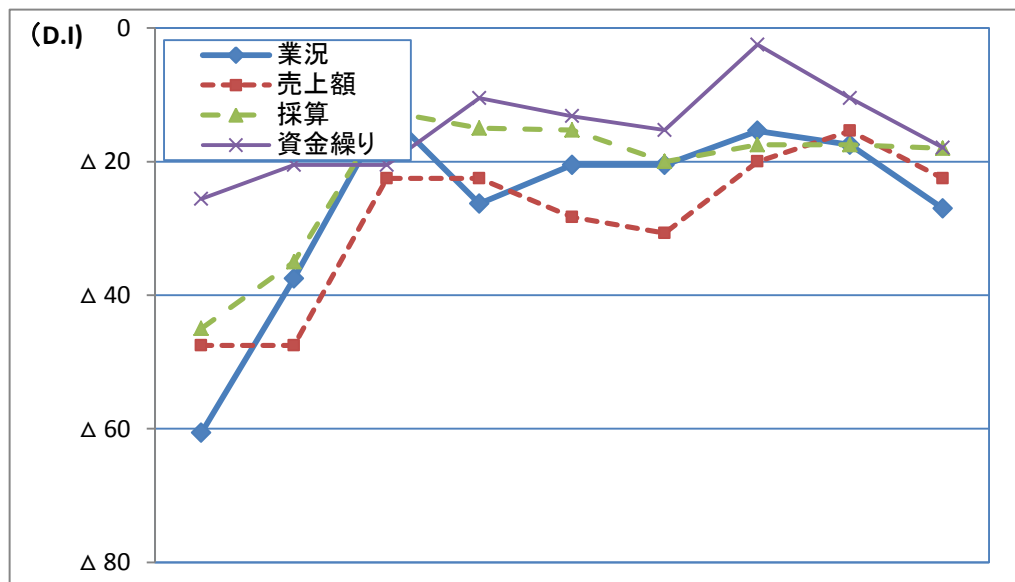
	H28/10～12月	H29/1～3月	H29/4～6月	H29/7～9月	H29/10～12月	H30/1～3月	H30/4～6月	H30/7～9月	H30/10～12月 (予想)
実績	15.0	20.0	10.0	15.0	21.1	10.0	25.0	25.0	
計画	25.0	20.0	25.0	10.0	20.0	20.0	25.0	15.0	25.0

小 売 業

1. 主要景況項目の動向

業況D. Iは△17.5（前期比-2.1ポイント）、売上額D. Iは△15.4（同+4.6ポイント）、採算D. Iは△17.5（同±0.0ポイント）、資金繰りD. Iは△10.5（同+8.0ポイント）であった。来期は業況判断・売上額・採算・資金繰りD. Iの全ての項目で悪化を予想している。

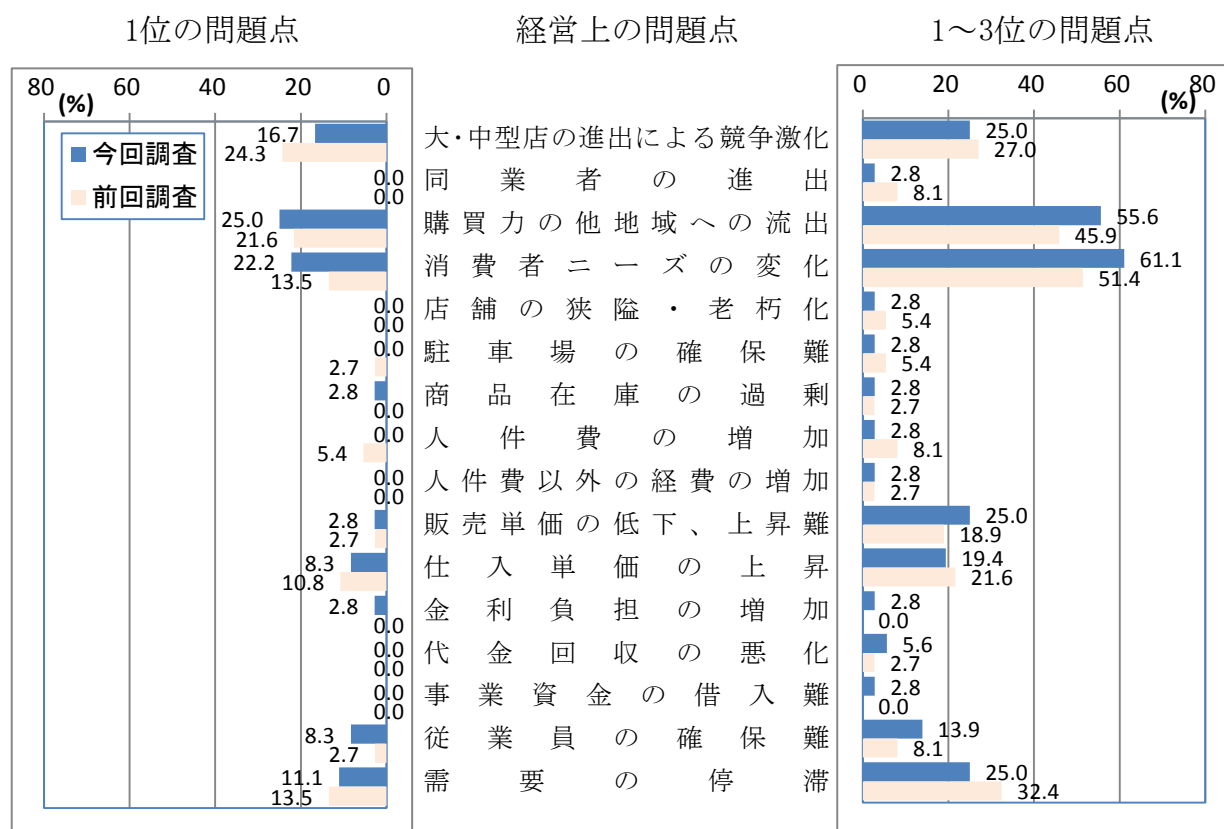
全国との比較では、今期富山県は業況判断・採算・売上額・資金繰りD. Iの全ての項目で上回った。



		H28/10~12月	H29/1~3月	H29/4~6月	H29/7~9月	H29/10~12月	H30/1~3月	H30/4~6月	H30/7~9月	H30/10~12月 (予想)
業況	好転	2.6	5.0	17.5	10.5	10.3	15.4	7.7	12.5	8.1
	不変	34.2	52.5	52.5	52.7	58.9	48.7	69.2	57.5	56.8
	悪化	63.2	42.5	30.0	36.8	30.8	35.9	23.1	30.0	35.1
	D. I	△ 60.6	△ 37.5	△ 12.5	△ 26.3	△ 20.5	△ 20.5	△ 15.4	△ 17.5	△ 27.0
	D. I (全国)	△ 37.7	△ 39.5	△ 30.5	△ 32.6	△ 35.7	△ 35.7	△ 31.7	△ 32.1	△ 28.4
売上額	好転	7.5	10.0	22.5	25.0	17.9	23.1	20.0	23.1	20.0
	不変	37.5	32.5	32.5	27.5	35.9	23.1	40.0	38.4	37.5
	悪化	55.0	57.5	45.0	47.5	46.2	53.8	40.0	38.5	42.5
	D. I	△ 47.5	△ 47.5	△ 22.5	△ 22.5	△ 28.3	△ 30.7	△ 20.0	△ 15.4	△ 22.5
	D. I (全国)	△ 40.1	△ 38.9	△ 30.9	△ 35.0	△ 39.6	△ 38.9	△ 31.0	△ 30.9	△ 32.1
採算	好転	5.0	10.0	10.0	15.0	10.3	20.0	12.5	12.5	5.1
	不変	45.0	45.0	67.5	55.0	64.1	40.0	57.5	57.5	71.8
	悪化	50.0	45.0	22.5	30.0	25.6	40.0	30.0	30.0	23.1
	D. I	△ 45.0	△ 35.0	△ 12.5	△ 15.0	△ 15.3	△ 20.0	△ 17.5	△ 17.5	△ 18.0
	D. I (全国)	△ 36.2	△ 37.6	△ 30.0	△ 30.3	△ 35.1	△ 36.7	△ 30.8	△ 31.7	△ 28.0
資金繰り	好転	2.6	10.3	2.6	7.9	2.6	10.3	10.3	0.0	0.0
	不変	69.2	58.9	74.3	73.7	81.6	64.1	76.9	89.5	82.1
	悪化	28.2	30.8	23.1	18.4	15.8	25.6	12.8	10.5	17.9
	D. I	△ 25.6	△ 20.5	△ 20.5	△ 10.5	△ 13.2	△ 15.3	△ 2.5	△ 10.5	△ 17.9
	D. I (全国)	△ 23.0	△ 23.8	△ 19.5	△ 20.0	△ 22.9	△ 24.1	△ 19.7	△ 21.4	△ 21.9

2. 経営上の問題点

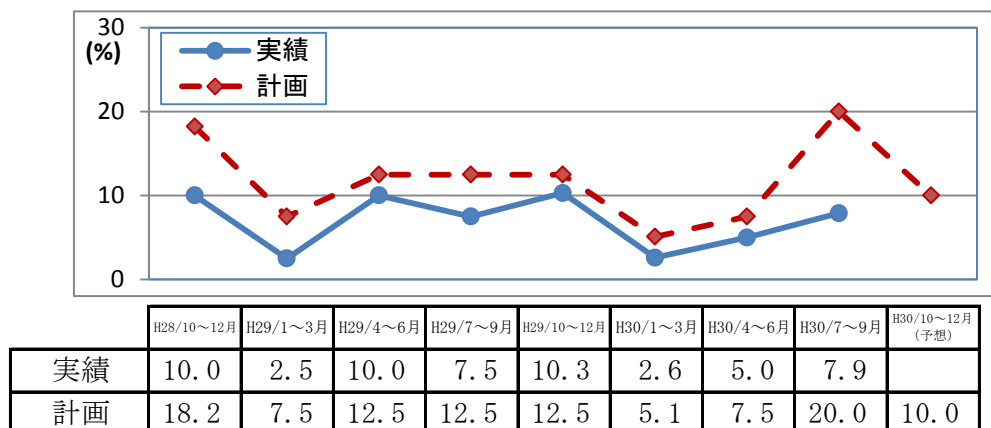
1位の問題点の上位は、①「購買力の他地域への流出」(25.0%)、②「消費者ニーズの変化」(22.2%)、③「大・中型店の進出による競争激化」(16.7%)であった。これを1～3位までの合計で見ると、①「消費者ニーズの変化」(61.1%)、②「購買力の他地域への流出」(55.6%)、③「大・中型店の進出による競争激化」(25.0%)「需要の停滞」(25.0%)の順となった。「購買力の他地域への流出」、「消費者ニーズの変化」、「大・中型店の進出による競争激化」が上位に定着している。



3. 設備投資の状況

今期設備投資を実施した企業は、前期比2.9ポイント増加し7.9%となった。投資内容は販売設備、付帯施設となっている。

来期計画は2.1ポイント増加し10.0%となっている。投資内容は店舗、付帯設備、OA機器等となっている。

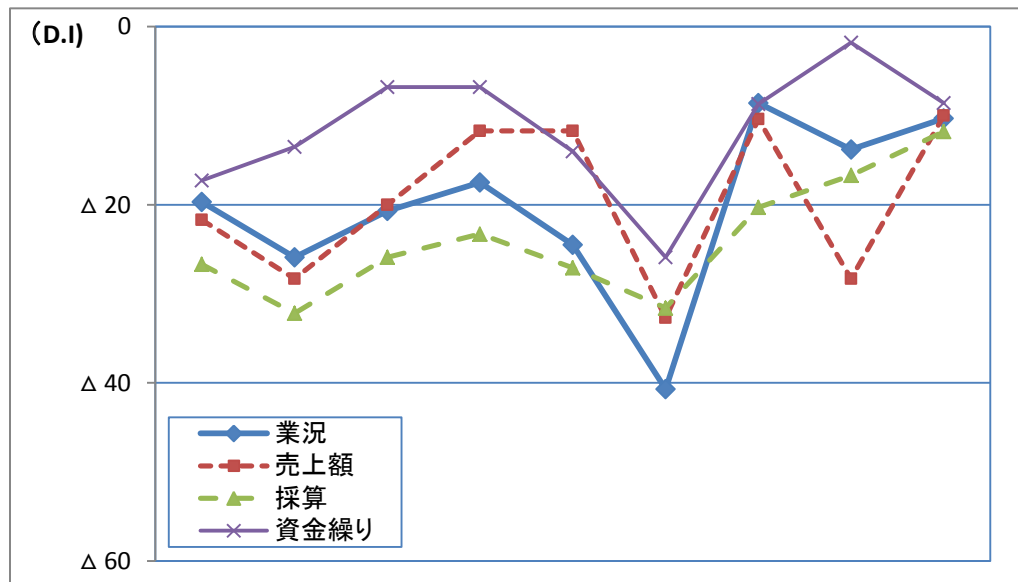


サービス業

1. 主要景況項目の動向

業況D. Iは△13.8（前期比-5.2ポイント）、売上額D. Iは△28.3（同-17.9ポイント）、採算D. Iは△16.7（同+3.5ポイント）、資金繰りD. Iは△1.8（同+6.9ポイント）であった。来期は業況判断・売上額・採算D. Iの項目で好転、資金繰りD. Iの項目で悪化を予想している。

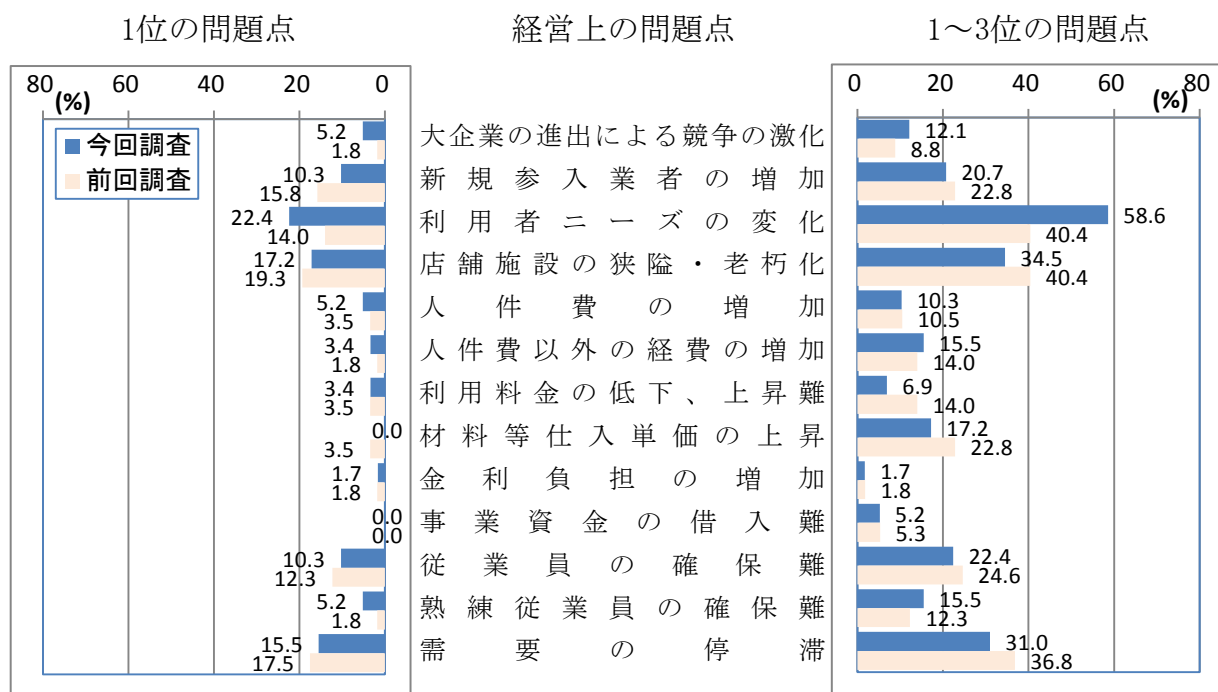
全国との比較では、今期富山県は業況判断・採算・資金繰りD. Iの項目で上回り、売上額D. Iの項目で下回った。



		H28/10~12月	H29/1~3月	H29/4~6月	H29/7~9月	H29/10~12月	H30/1~3月	H30/4~6月	H30/7~9月	H30/10~12月 (予想)
業況	好転	8.9	6.9	10.3	8.8	8.8	3.4	13.8	10.3	13.8
	不変	62.5	60.3	58.7	64.9	57.9	52.5	63.8	65.6	62.1
	悪化	28.6	32.8	31.0	26.3	33.3	44.1	22.4	24.1	24.1
	D. I	△ 19.7	△ 25.9	△ 20.7	△ 17.5	△ 24.5	△ 40.7	△ 8.6	△ 13.8	△ 10.3
	D. I (全国)	△ 26.5	△ 26.5	△ 17.2	△ 18.0	△ 23.1	△ 24.8	△ 18.5	△ 20.4	△ 16.6
売上額	好転	15.0	15.0	20.0	20.0	23.3	13.8	22.4	15.0	16.7
	不変	48.3	41.7	40.0	48.3	41.7	39.7	44.8	41.7	56.6
	悪化	36.7	43.3	40.0	31.7	35.0	46.5	32.8	43.3	26.7
	D. I	△ 21.7	△ 28.3	△ 20.0	△ 11.7	△ 11.7	△ 32.7	△ 10.4	△ 28.3	△ 10.0
	D. I (全国)	△ 26.5	△ 27.5	△ 16.4	△ 18.3	△ 22.6	△ 26.6	△ 18.3	△ 20.5	△ 16.2
採算	好転	10.0	5.1	6.9	5.0	6.8	6.7	8.5	10.0	13.6
	不変	53.3	57.6	60.3	66.7	59.3	55.0	62.7	63.3	61.0
	悪化	36.7	37.3	32.8	28.3	33.9	38.3	28.8	26.7	25.4
	D. I	△ 26.7	△ 32.2	△ 25.9	△ 23.3	△ 27.1	△ 31.6	△ 20.3	△ 16.7	△ 11.8
	D. I (全国)	△ 29.7	△ 29.0	△ 21.5	△ 21.8	△ 27.1	△ 29.6	△ 22.1	△ 22.6	△ 19.7
資金繰り	好転	3.4	6.8	3.4	6.8	3.5	3.4	5.3	10.3	8.6
	不変	75.9	72.9	86.4	79.6	79.0	67.3	80.7	77.6	74.2
	悪化	20.7	20.3	10.2	13.6	17.5	29.3	14.0	12.1	17.2
	D. I	△ 17.3	△ 13.5	△ 6.8	△ 6.8	△ 14.0	△ 25.9	△ 8.7	△ 1.8	△ 8.6
	D. I (全国)	△ 18.8	△ 19.3	△ 13.5	△ 14.1	△ 15.3	△ 19.4	△ 13.1	△ 13.2	△ 12.7

2. 経営上の問題点

1位の問題点の上位は、①「利用者ニーズの変化」(22.4%)、②「店舗施設の狭隘・老朽化」(17.2%)、③「需要の停滞」(15.5%)であった。これを1～3位までの合計で見ると、①「利用者ニーズの変化」(58.6%)、②「店舗施設の狭隘・老朽化」(34.5%)、③「需要の停滞」(31.0%)の順となった。「利用者ニーズの変化」、「店舗施設の狭隘・老朽化」、「需要の停滞」が上位に定着している。



3. 設備投資の状況

今期設備投資を実施した企業は、前期比3.1ポイント増加で16.9%となった。投資内容は土地、建物、サービス設備、車両・運搬具、付帯施設、OA機器等となっている。来期計画は3.1ポイント増加し20.3%となっている。投資内容は建物、サービス設備、車両・運搬具、付帯施設等となっている。

